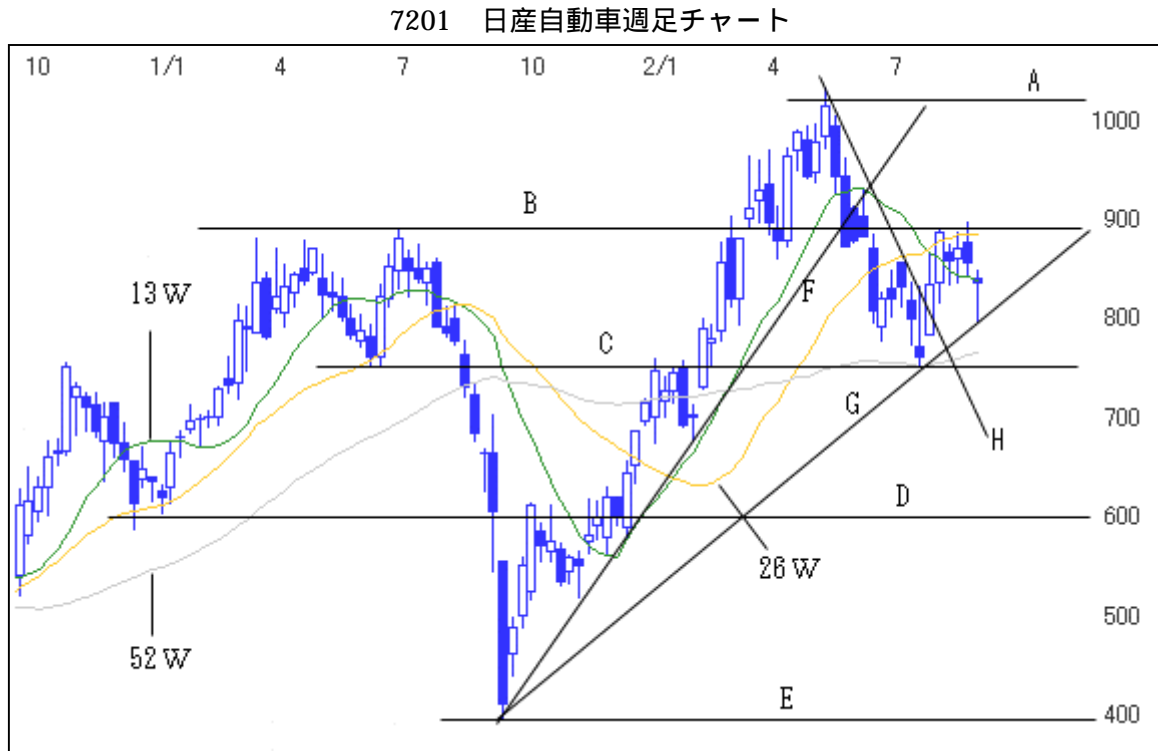


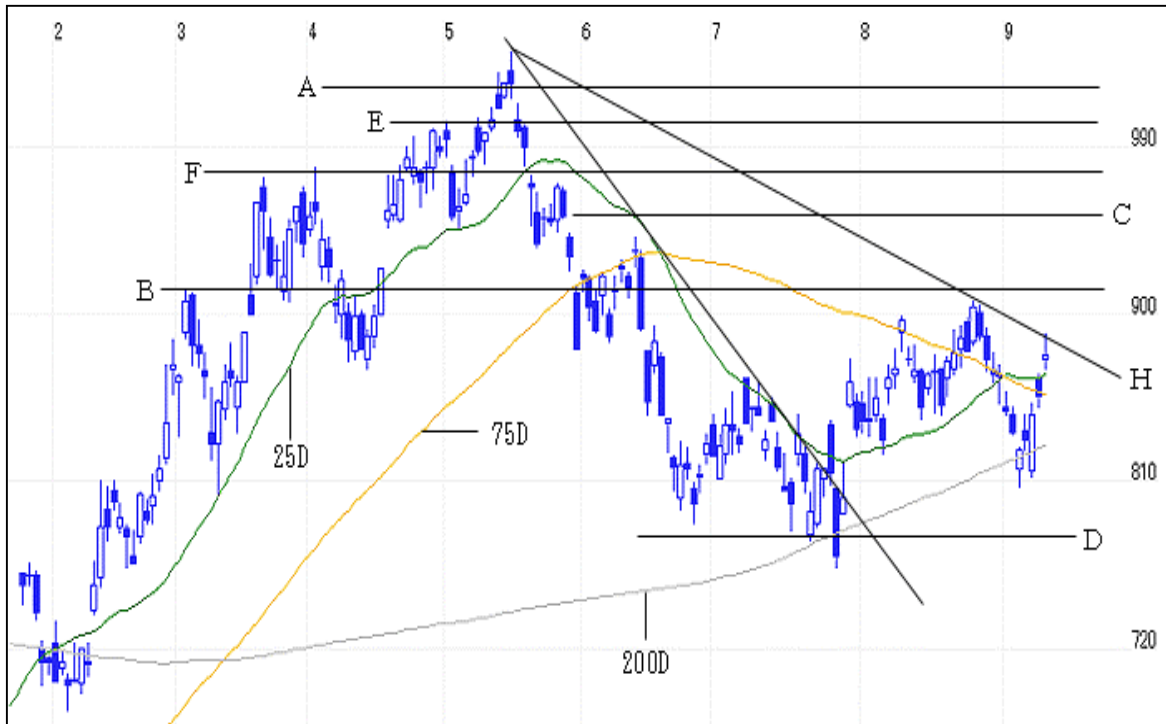
銘柄研究

日産自動車の過去のチャートです。このチャートから株価の値動きを分析してみたいと思います。



上のチャートで上値の抵抗ラインはBとなります、そこを突破すれば今度はBが下値支持ラインとなり、基本的にはAとBの間での値動きになると見ます。下値支持ラインはGの上昇トレンドラインとなります。Gの上昇トレンドラインを下回ればCのフシが下値支持ラインとなり、Gの上昇トレンドラインが上値抵抗ラインとなります。フシとトレンドラインで見た場合はこのようになります。移動平均線を含めて見ると52W線が下値支持線となっていますので、52W線を下回り、フシであるCラインを下回ればDのフシまでの下落の可能性が出てきます。又26W線を突破しフシであるBラインを突破すればAまでの上昇の可能性が出てくると判断します。この段階ではまだ上昇トレンドは継続中となりますのでフシまでの押し目があれば買いと判断します。週足チャートは中期的な株価のトレンドを把握するのに適していますので、トレンドが解ればあとは、日足チャートで売り買いのタイミングを判断する事になります。

7201 日産自動車日足チャート



上のチャートは、過去の日産自動車の日足チャートです。200日線を下値支持線として、反発しているのがおわかり頂けると思います。そして、75・25日線も上回ってきていますので移動平均線の解釈では買いとなりますが、上値抵抗線Hをまだ突破していませんので、この段階では再度200日線付近まで下落する可能性も残っています。つまり、上値抵抗線Hを突破できなければHと200日線、又はHとDの間での保ち合いになる可能性もあるという事です。又下落せずに、上値抵抗線Hを突破した場合はBのフシが上値抵抗線になります。そして、突破したHが下値支持線となりますので、基本的にはB～Hでの値動きになるのが基本です。Bを突破すればCのマド埋めが次の上値抵抗線と判断します。この段階で、投資家としてどう考えて対処すれば良いかを考えて見たいと思います。基本的には上昇トレンドは継続中ですので、スタンスは買いとなります。次に買いのタイミングとしては、200日線付近への押し目を待つ（基本的なスタンス）又はDライン付近への下落を待つ（慎重なスタンスだが買えない可能性大）又は200日線付近、Dライン付近と3回に分けて買い下がるスタンスを念頭に入れて現株価水準を買う（資金量の多い投資家）の3つのパターンが考えられますので、リスク許容度、資金量を考慮して、自分に合ったスタンスがどれなのかを把握しておく事が重要です。もう1つ大事な事は損切り設定となります。リスクを管理する上では必ず決めておいた方が良いでしょう。例えば買値から10%下がれば機械的に損切り、又はチャート上の下値支持ライン（上のチャートではDライン）を切れば損切りといったよう予め決めておけば損失は限定されます。分析の結果上昇すると判断して買ったものが、予想に反して下がってしまった場合は、買いの前提条件が崩れた訳ですから、保有する理由が存在しません。ミスはミスと認めて直に売却して次に備える事が株式投資の勝利者への道に繋がります。